

議員提出議案・請願・陳情・意見書

今定例会において審査された議員提出議案、請願、陳情、意見書について、その内容と結果についてお知らせいたします。

議員提出議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
決 議 案 提出者 深谷 弘 賛成者 佐藤正則 大竹功一	高橋光雄市議会議長の不信任決議案 (一部抜粋) 昨年12月定例会で、議長が議会に諮らず「議員定数に関する検討懇談会」を設置・開催し、報償費を支給したことに對し、地方自治の精神、合議制による議会運営を蔑ろにするもので、議長の資質に欠けると不信任決議案が提出された。決議案は僅かの差で否決されたが、その後議会をめぐる混乱は続いた。 某月刊誌に「ある会派が他の会派を脅し、分裂させた」との記事があり、政治倫理審査会が開かれた。そのなかで、「会派分裂」に議長が関わっていたことが確認された。これは、特定の会派に偏らず、公平・公正な運営が求められる議長の行動としては許されない。昨年12月以降の一連の行動から、議長を信任することはできない。	<反対意見> 公金支出の賠償責任については、法的に発生しないことや今回の市民懇談会設置の手続きの不備を発端とする混乱を招いた責任に対しては、既に12月定例会で審判がなされており、その責任を改めて問う今回の議長不信任案は妥当性に欠くものである。 否決（賛成少数）
議会案第1号	白河市議会議員定数条例の一部を改正する条例 民意の意向や他自治体の定数の動向を踏まえ、本市議会に与えられた役割を効果的に果たすことを目指し、新たな定数を24人とするため、本条例の一部を改正する。	可決（賛成多数）

請願議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
(継続案件) 請願第9 請願者 全日本年金者組合 白河支部長	年金制度の改善を求める意見書提出の請願 1.年金制度のいっそうの充実を図ること ①国際水準である年金の毎月支給に道を開く法制度を実現すること ②年金支給開始年齢のこれ以上の引き上げはしないこと	継続審査
(継続案件) 請願第10 請願者 全日本年金者組合 白河支部長	全額国庫負担による「最低保障年金制度」の早期実現を求める意見書提出の請願 全額国庫負担による「最低保障年金制度」を早期に創設すること	<反対意見> 最低保障年金制度とは、全日本年金者組合が提唱し、無年金者にも一律5万円を給付、現受給者には上乗せになるという制度である。その原資は、国庫負担であり、更に大きな税負担になる制度には到底納得できるものではない。 基礎年金は、老後の生活すべてを賄う制度ではなく、自助努力も生活を支える重要な手段であるという認識を持つことも大切である。 よって、最低保障年金制度の早期実現を求める意見書提出の請願内容には無理がある。 不採択（賛成少数）
請願第1 請願者 日本労働組合 総連合会 福島県連合会 白河地区連合	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願 1.福島県最低賃金については、政府が掲げる「毎年年率3%程度を目途に引き上げ、全国平均で1,000円を目指す」との方針に沿って相応の引き上げを行うこと 2.福島県の復興促進、労働人口の県外流失に歯止めをかけることを踏まえ、上積みの改正をはかること 3.中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備すること 4.一般労働者の賃金引き上げ時期を踏まえ、福島県最低賃金の改定諮問時期を可能な限り早め早期発効に努めること	採択（全会一致）